

## 男子高校総体予選結果報告

野川 昌博(高64期)  
岸下 裕太郎(高58期)

試合結果は以下の通りです。

1回戦 天王寺 2vs0 長野  
2回戦 天王寺 1vs2 清教学園  
※清教学園は予選ラウンド突破

こんにちは。男子バレーボール部のコーチをしております64thの野川昌博です。先日7月26日に高校総体の予選がありました。センターで入るはずの一年生が学校の行事でこれず、代わりに二年生のセンターが急遽入る形にはなりましたが、今回は残念な結果に終わりました。初めての公式戦であったこともあるのか、プレーに緊張が見られ、最後までこちらのペースでバレーができなかったことが負けにつながったと思います。現役には、公式戦という場に慣れていってもらうことはもちろん、会場での立ち居振る舞い、プレー面では基本であるチャンスボールをきちんといれることなど、この夏にしっかりと指導していきたいと思いますので、OBの方々、顧問の先生方にはご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

58期の岸下です。遅くなりましたが、大阪高校総体男子の観戦報告を致します。新チーム初試合の緊張からか、試合前からチームみんなの表情が硬く、練習でも声が出ずに落ち着きがありませんでした。1回戦の長野高校戦は案の定、全体的に動きにキレがなく、またリズムをつかめないまま試合が進んでいきました。しかし、相手も新チームになったばかりということでミスが多く、また2年生 両エースは悪いなりにスパイクを打ち切っていたため、試合自体は余裕をもって勝利することができました。

2回戦の相手、清教学園は、新チームではあるものの部員が25名を超えており、また1回戦を見ても両サイド・センター共にしっかりとコンビを使って攻撃を仕掛ける、既に完成度の高いチームでした。試合前から苦戦をするだろうな、とと思っていましたが、やはり第1セットは終始相手ペースで試合が進んでいきました。こちらレフト、センターから主将のAクイックで反撃をするものの、センターがホールディングをとられてしまって動揺してしまったこともあり、14-25で落としてしまいました。第2セットはみんな開き直ったのか、それまでとは見違えるようなプレーを見せ、また相手が勝ちを意識して守りに入ってくれたのか、サーブカットがきっちり返るようになり、センターのAクイック、レフトの平行が面白いように決まりました。さらにブロックでシャットアウトしたことで相手レフトの動揺を誘い、スパイクをふかしたりネットに掛けたりしてくれたため、第1セットとは全く逆の展開で取り返すことができました。

第3セットになると相手も息を吹き返し、序盤は競り合いとなりましたが、中盤以降、相手の的を絞ったブロックに苦しんでスパイク決定率が下がりはじめ、終盤にはエースがバックアタックも使って反撃したものの、そのまま相手に押し切られてセットカウント1-2で敗戦してしまいました。今大会では清教学園のチーム完成度が非常に高く、残念ながら実力で下回ったと言わざるを得ません。天王寺は個人の身体能力は高いのですが、まだまだラリー中に自分のやるべきことを認識できていないことが多く、バレーをもっと勉強しないといけないと思いました。しかし、逆に言えば今のチームには大きな伸びしろがあるということです。

今後、美濃出・野川両コーチがしっかりと鍛えてくれることに期待します！また、野川コーチのコメントにもありましたが、今回の試合の応援に行き残念に感じたのは、集団としての規律のとれた行動ができていないということです。全員が周りの様子を伺いながらなんとなく動いているような感じがしました。また、審判の用意や試合のエントリーシートの用意ができていないなど、公式戦をするにあたっての準備ができておらず、これでは負けても仕方がないと思ってしまいました。もとをただせば、昨年度のコーチとしての私の指導不足であると言えます。美濃出・野川両コーチには、今後このようなことがないよう、しっかりと指導してあげてほしいと思います。